

JA鶴岡の自己改革 「組合員に 必要とされるJA」 になるために

JA鶴岡では、「組合員に必要とされるJA」になるために平成29年～31年度に向けた「中期経営計画」と「第11次地域農業振興運動計画」に沿って「めざせ100億! 産地の信頼」をスローガンに「自己改革」を進めています。今回の特集では、JA鶴岡が取り組む自己改革を紹介します。



販売事業

米 政策の今後を見据え、取引先と複数年契約を締結し「信頼される産地づくり」の構築や、実需に応じた銘柄や施設・地域との結び付きをより強固なものとし「顔の見える産地づくり」に取り組んでいます。

園芸 芸作物の生産拡大をすすめるため、生産者の高齢化や人手不足対策として、共同選果施設の稼働や、有利販売を構築するため、消費ニーズに応じた多様な量目・形態での販売強化に取り組み、平成31年度中の稼働をめざし、枝豆の選別、計量、包装設備の設置を進めています。

また、創設した園芸振興積立金を活用し、各地域の実情に合わせ土壤消毒機などの導入や新規取り組み品目への助成などで園芸品目の拡大を進めています。

直営 直品の販売高向上による農業所得の増大と、市民へ地域農業の魅力を伝えます。

生産者へ生産指導から消費動向まで様々な情報を伝え、魅力ある品質・価格・品ぞろえに努めています。また、各種イベントの開催や試食・調理提案など、消費者に選ばれる店をめざしつつ、市民に地域農業の魅力をPRしています。当JAの農産物直売所は平成30年7月に「もんとあ～る」に改名。リニューアル効果により客数・売上が伸びています。



購買事業



生産資材価格の引き下げおよび 低コスト生産技術の確立・普及の取り組み

予約購入による価格メリット、大口購入値引き、自己取扱い、早期配送値引きの実施や満車直行対策品目の拡大、大型車特別価格を設定しました。また、除草剤の大型規格品や安価なジェネリック剤を供給、パイプハウスの長寿命化対策や新規取得キャンペーンを実施しています。

担い手ニーズに即した生産資材商品の供給拡大

指導部署との連携による品質・食味の高位安定生産に向けた肥料・農薬等を提案しています。

低コスト・省力化農業機械の提案と予約整備によるメリットの提供

経営規模ニーズにあった機械の提案や、JAグループ低価格モデルなどの価格訴求商品の取り扱いなど幅広い選択肢を提案しています。また、主要農機の整備について、整備料の見直しや予約整備の機種を拡大しています。

燃料の安定供給と利用数量に応じた単価設定により、 農業生産コスト削減の取り組み

園芸施設用灯油について、利用数量に応じた単価ランクと代金決済時期について柔軟に対応しています。

乾燥機用灯油について、営農応援キャンペーンを通じて、利用数量に応じた値引き単価ランクを実施し、燃料コストの削減に取り組んでいます。



担い手支援

担い手への営農支援、新規就農者や地域営農法人 (農事組合法人)など新たな担い手の育成

地域営農法人(農事組合法人)の設立支援及び経理支援を実施しています。

無料職業紹介事業の実施による農業労働力確保への支援を実施しています。

農地集積円滑化事業や農地中間管理事業による担い手への農地集積を支援しています。

農作業受委託斡旋事業による水稻・大豆等の作業受委託を支援しています。

新規就農者・法人への個別相談の充実とJA内各部署が一体的な支援を行います。

担い手への面談や訪問活動による個別相談や情報提供を行います。



信用・共済事業

【信用事業】

地域からの信頼に応え、組合員・利用者から選ばれるアグリ・コミュニティバンクであり続けるために取り組んでいます。

行政との連携により農業生産者及び地域に密着した融資の展開、貯金や貸出金について、組合員に特典のある商品やキャンペーンを展開しています。

直売所「もんとあ～る」でのJJAカード利用5%割引購入のキャンペーンを行って、生産者を支援しています。

お客様の利便性を向上するために基幹の2店舗において、ATM稼働時間や窓口営業時間を拡大しました。また、北支所へATMを1台増設しました。

当組合内の振込・振替手数料において、組合員については半額免除を行っています。

【共済事業】

病気・災害・交通事故などに対する万一の備えとして、組合員の相互扶助により保障。組合員や家族の多様なニーズを調査して最適の保障を提供しています。

JJA鶴岡とJJA共済連山形など、JJAグループでは毎年鶴岡市へカーブミラーを寄贈しています。また、今年度は農業高校等へ農業機械を寄贈しました。



生活文化・食育活動・地域貢献活動

生活文化活動

きらめきカレッジ、あぐりセミナー、あぐりスクールなど市民や児童など様々な世代を対象とした農作物の収穫体験、料理講習会など、さまざまなイベントで食と農への理解を深めています。



青年部

保育園・小学校等に協力し地産地消や食育活動に取り組んでいます。農産物の贈呈や各種イベントに参加して地域貢献活動に取り組んでいます。東京都江戸川区の小学校で、稻作特別授業も行なっています。

女性部

高校生を対象とした伝統料理講習会やきらめきカレッジ、あぐりセミナーなどの料理講習会での講師など地産地消運動や食農教育を実践しています。

ボランティア活動等

助け合い組織である「けさらん愛、愛サービス」による高齢者世帯への手作り弁当の配食サービスやミニデイサービス、ゴミ拾いに取り組んでいます。また、野球・サッカーフットサル大会を主催し、スポーツを通じた青少年の育成に取り組んでいます。



総合事業について

JAは、地域の営農やくらしを支える為に、さまざまな事業を展開する「総合事業」を行っています。組合員や地域の皆様が事業を利用することで得た利益を活用することで、営農指導員の配置など地域農業の振興に役立てています。JAを利用する事が、地域の営農やくらしを支えることになります。



准組合員制度とは

組合員は正組合員と准組合員の2つに区分されています。農業を営む人々が正組合員、農業に関わりが無くても地域に住む方はJAの総合事業を利用することができるのが准組合員です。准組合員はJAの事業を利用するだけでなく、地域の農産物を食べること等で正組合員とともに地域の農業を支えています。

正組合員だけでなく、准組合員もさまざまな事業を利用する事で、JAの経営が安定し農業関連事業を実施する事が出来ています。地域の営農やくらしを支えるためには、准組合員の利用が欠かせません。

農業振興・地域の活性化へ

